



しんでんづくり ちょうどひん きぞく く
「寝殿造の調度品と貴族の暮らし」ワークシート

ねん くみ なまえ ()
年 組 名前 ()

① 貴族の家(外から見た様子)を見て、気づいたこと、ふしぎに思うことを書きましょう。

② () の中に言葉を入れて、十二単についてまとめましょう。

じゅうにひとえにようぼうしょうぞく こうき みぶん つか にようぼう み つ しょうぞく
十二単(女房装束)は、高貴な身分に仕える女房たちが、() で身に着けるための装束でした。

からぎぬ よ いちばんうえ うわぎ ねんれい き いろ き
唐衣と呼ばれる一番上の上着は、() や年齢で、着る色が決められていました。

また、重ねの色目といって () によって唐衣の下に重ねて着る着物の配色を工夫していました。

③ 貴族の部屋を見て、気づいたことやふしぎに思うことを書きましょう。

④ 泔杯、火取母はそれぞれどのようなことに使ったのでしょうか。

ゆするつき ひとりも ()
泔杯 ()

ひとりも ()
火取母 ()

⑤ 貴族は、日々どのようなことをして過ごしていたと思いますか。考えて、書きましょう。

まとめよう へいあんじだい きぞく く
平安時代の貴族の暮らしについてわかったことをまとめてみましょう。



「寝殿造の調度品と貴族の暮らし」ワークシート

ねん くみ なまえ ()
年 組 名前 ()

① 貴族の家(外から見た様子)を見て、気づいたこと、ふしぎに思うことを書きましょう。

A: (自由解答 ~ 外観に触れた解答例)

- ・庭に大きな池があり、池の真ん中に小さな島がある。
- ・建物は大きいですが、屋根は瓦ではない。
- ・建物が和風のところは似ている。 など

② () の中に言葉を入れて、十二単についてまとめましょう。

十二単(女房装束)は、高貴な身分に仕える女房たちが、(宮中) で身につけるための装束でした。

唐衣と呼ばれる一番上の上着は、(身分) や年齢で、着る色が決められていました。

また、重ねの色目といって(季節) によって唐衣の下に重ねて着る着物の配色を工夫していました。

③ 貴族の部屋を見て、気づいたことやふしぎに思うことを書きましょう。

A: (自由解答 ~ 外観に触れた解答例)

- ・畳が少ししかない。 ・ドアがない。 ・窓や壁がない。 ・カーテンのようなものがある。
- ・色々なものが置いてある。 ・黒い色のものが多い。

④ 泔杯、火取母はそれぞれどのようなことに使ったのでしょうか。

A: 泔杯 (髪の毛を洗うための米のとぎ汁を入れておく容器。)

火取母 (着物についた臭いを消すために香を焚く道具。)

網の部分に上から着物をかぶせて香のかおりをつける。

⑤ 貴族は、日々どのようなことをして過ごしていたと思いますか。考えて、書きましょう。

A: ・政治を行ったり、色々な儀式に参加したりしていた。

- ・仕事では、決められた作法や手順が重視されたため、毎日のできごとを日記に細かく記録した。

まとめよう

平安時代の貴族の暮らしについてわかったことをまとめてみましょう。

(わかったこと、ふしぎに思ったこと、驚いたことなどを記述)

・十二単について、季節によって重ね方を変えることや、色に意味があることがおもしろいと思った。

・建物の中に、お風呂やトイレが無いことに驚いた。

・調度品は今と変わらないものがあり、道具を作る職人の技術が高かったと思う。 など